

平成26年度学校評価

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>＜教育課程＞</p> <p>(1) 生徒一人ひとりの進路希望に応じたカリキュラムを充実させ、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る。</p> <p>(2) 国際理解教育を推進し、他者理解を深めることによって、広い視野を持った生徒を育成する。</p>	<p>(1) ①少人数・習熟度別編成による英語教育の内容・指導方法の充実を図る。</p> <p>②生徒が主体的かつ興味・関心を持って取り組めるよう理科の学校設定科目の内容の充実を図る。</p> <p>③生徒個々の進路目標に応じた選択科目や学校設定科目の充実・改善を進める。</p> <p>④学校行事の年間計画における配置の検証を行い、学習活動と学校行事の両立を図る。</p> <p>(2) 学年ごとの国際理解講座を充実させ、他者を理解するためのコミュニケーション能力の向上を図る。</p>	<p>(1) ①英語教育の内容・指導方法を充実できたか。</p> <p>②理科の学校設定科目の内容を充実できたか。</p> <p>③選択科目や学校設定科目の充実・改善を進めることができたか。</p> <p>④学校行事の配置の検証及び改善ができたか。</p> <p>(2) 国際理解講座をとおして、生徒のコミュニケーション能力が向上したか。</p>	<p>・少人数編成の特性を活かし、ペアワークやグループワークの時間を確保し、言語活動を充実することによってコミュニケーション能力を向上させることができた。</p> <p>・1年から3年へのつなぎ科目として、内容を充実させ実施することができた。</p> <p>・進路希望や受験科目、興味・関心等のニーズに対応できるように授業内容を検討しながら進めることができた。</p> <p>・学習活動との両立については、各学年や生徒会と相談をしながら、適切に実施することができた。</p> <p>・学年ごとに段階を踏んだ国際理解講座を実施し、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を図ることができた。難民への衣料品支援の活動も継続して取り組むことができた。</p>	<p>・クラス増に伴い、現在実施している1・2学年の2クラス3展開授業が継続できるか早急に検討する。</p> <p>・入試問題等の傾向も視野に入れながら、一層の内容の充実に努める。</p> <p>・志望大学等も変化している状況を適切に把握し、より生徒のニーズにあった設定科目及び選択科目の内容を検討する。</p> <p>・合唱コンクールの実施については、準備期間が必要であり、内容や時期について検討する。修学旅行についても、学校目標等を念頭におき内容や実施時期等、継続的に検討する。</p> <p>・講座内容の振り返りを行い、一層の内容の充実に努め、生徒の興味・関心を高める工夫を行う。</p> <p>・生徒の活動をより活発化させるため、内容を充実させ継続する。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・良いものは続けられるようお願いしたい。コミュニケーションを中心とした授業は、少人数が望ましい。</p> <p>・塾や予備校に通わないと、受験できない雰囲気があるが、授業の中でしっかりと伝えてくれている。</p> <p>・進学についても確実に結果がでていた。引き続き生徒を伸ばしていただきたい。</p> <p>・体育祭や合唱コンクール等では生徒達の生き生きとした顔が素晴らしい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・学校行事一つひとつの目的や意味を明確にし、生徒に理解させよう。年間行事の予定を計画し、授業時間確保をしていくことが望ましい。</p> <p>・学校行事において活動することで身に付けられる力もある。行事はただ減らすのではなく、時期等を検討して進めてもらいたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・少人数で実施することで、コミュニケーション能力の向上につながっているが、クラス増への対応も含め学習内容等を検討する必要がある。</p> <p>・生徒の進路ニーズの変化に対応した内容の授業を進めることができている。進学実績も着実に上昇している。</p> <p>・学校行事については、生徒が主体的に活動できており、様々な力を付ける機会となっている。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・少人数授業の学習効果を検証しながら、クラス増への対応等も含め継続できるか検討する。</p> <p>・進路ニーズ等の変化を考え、カリキュラム全体の見直しを検討する。</p> <p>・授業時間の確保の観点から学校行事の配置を継続的に検討する。</p> <p>・国際理解教育についても、内容を膠着化させることなく、改善しながら進めて行く。</p>

<p><生徒指導・支援> (1) 組織的な教育相談体制のより一層の整備を図る。 (2) 生徒の自己肯定感や規範意識を高める取組を推進する。</p>	<p>(1) 支援を必要とする生徒への組織的な教育相談体制を充実させる。 (2) ①生徒の部活動参画意識を高め、部活動とおして自己肯定感を持たせるとともに、社会性の育成を図る。 ②服装・頭髪指導を充実させるとともに、安全かつマナーを守る自転車乗車指導の徹底を図る。 ③生徒会を中心とした生徒主体の校内美化、地域清掃活動、節電等への取組を推進し、生徒の環境意識を高める。</p>	<p>(1) 組織的な相談体制を充実できたか。 (2) ①部活動入部率が向上したか。 ②服装・頭髪指導が徹底できたか、自転車乗車マナーが向上し安全意識が高まったか。 ③生徒の環境意識を高める取組ができたか。</p>	<p>・スクールカウンセラーの有効活用や教育相談コーディネータを中心としたケース会議の実施など組織的に対応することができた。 ・部活動入部率は昨年と同様で、加入率を上げることはできなかったが、新規にアコースティックギター同好会の設立や演劇コンクールへの参加など、活動の幅を広げることができた。 ・服装・頭髪指導は日常的に粘り強く指導しているため、一定の成果をあげている。 ・自転車乗車マナーについては、交通安全教室を行い指導したが、まだ並列走行等が見られる。 ・お掃除大作戦では多くの生徒が参加し地域清掃を実施できているが、節電も含め生徒の環境意識を高めることについては不十分である。</p>	<p>・担任が抱え込む状況もまだあるため各学年の教育相談担当をより積極的に活用できるようにする。 ・ケースにより、分教室の支援をいただきながら、適切に対応する。 ・文化部への入部率が17%程度にとどまっているため、活動の幅も含め活性化させ、入部率を増加させる。 ・服装・頭髪・遅刻指導等の指導方法について、職員の認識を再確認し足並みをそろえ、引き続き粘り強く指導する。 ・交通安全指導教室の効果的な実施や通学指導マナー週間の内容の確認をする。 ・美化活動等生徒が主体となる活動になるよう支援する。</p>	<p>(保護者) ・部活動を頑張ることは大事なことであるが、勉強が疎かになるのが心配である。 ・文化祭を見ると少しずつ文化部が活発になっていることを感じる。頑張ってもらいたい。 ・生活指導の成果として、学校に落ち着いた雰囲気を感じる。 (学校評議員) ・授業では取り扱うこともあると思うが、学校として環境教育に取り組むことが望まれる。 ・生徒指導の成果なのか、通学路で生徒達を見ても、大変落ち着いていると感じる。</p>	<p>(学校評価) ・問題を抱える生徒に対し、分教室の支援をいただきながら進めることができた。 ・文化部の活動が徐々に活発化している。より活性化させたい。 ・生活指導は継続して粘り強く行っていく。交通安全に対する意識を高める必要がある。 (改善方策等) ・教育相談窓口について、より積極的に生徒達にアナウンスする。 ・生徒指導の方針を年度当初に全職員が共通認識のうえで実施する。 ・美化委員会の活動を活性化させ生徒が主体となった環境意識啓発を進める。</p>
--	---	--	--	---	--	--

<p><学習指導・授業改善> 組織的な授業改善を推進し、生徒の基礎学力の定着を図る学習指導体制を充実させる。</p>	<p>①家庭学習等の自学自習の習慣を身につけさせるために、小テストの実施や宿題の課し方等を工夫する。 ②言語活動のより一層の充実を図り、研究授業をとおして成果の検証を行う。 ③教科会の定例化及び研究授業の推進を図り、教員の教科指導力を向上させる。 ④授業評価アンケート結果を迅速に集計し、授業改善に反映させる。</p>	<p>①小テストの実施や宿題の課し方等が工夫できたか。 ②言語活動の充実について検証及び改善できたか。 ③教科会の定例化及び研究授業の推進ができたか。 ④授業評価アンケート結果を授業改善に活かされたか。</p>	<p>・多くの教科において小テストの実施や課題を課す等、粘り強く指導し、家庭学習習慣の定着につなげることができた。 ・多くの授業でグループ学習に取り組み、調べ学習の発表を行うなど言語活動の充実に取り組んだ。 ・定期試験直後の教科会を定例化し生徒の学習状況の確認及び指導方法等の改善を行った。また、授業発見ウィークを実施し授業公開・研究協議を行い組織的な授業改善を推進した。 ・授業評価アンケートを集計し、授業改善につながる資料を作成した。</p>	<p>・家庭学習習慣の定着に向けて課す課題の内容を検討する。基礎・基本の定着及びその重要性を理解させるように小テストの実施を継続する。 ・グループ学習等に取り組みにくい科目においても、工夫することにより言語活動を充実させるようにしていく。 ・協議内容を精選したうえで、教科会を充実させる。また、課題意識を職員全体で共有し解決に取り組む。 ・評価と点検を行い、結果を職員で共有し授業改善を推進する。</p>	<p>(保護者) ・試験前以外は、自宅で学習する習慣がないので、宿題を出すことはいいことだと思う。 ・人前で話すことが苦手な生徒もいると思うが、プレゼンテーション能力の育成は必要である。 (学校評議員) ・授業評価アンケートの質問項目が、生徒にわかりづらい形になっている。科目によって答えやすい質問にした方がよい。</p>	<p>(学校評価) ・基礎基本の定着及び学習習慣の定着に向け、すべての教科で小テストや課題を課すことに取り組むことができた。 ・多くの教科で言語活動を充実させる取組を実施している。 (改善方策等) ・授業評価アンケートの質問項目について検討し、教員・生徒両者にとって、良い方向に進むようにする。</p>
<p><キャリア教育> (1)キャリア教育実践プログラムを充実させる。 (2)学年ごとの発達段階に応じた進路支援活動を充実させる。</p>	<p>(1)キャリア教育実践プログラムを活用するために、職員のキャリアカウンセリング能力の向上を図る。 (2)①学年ごとの進路支援体制を充実させ、学年・担任による的確な進路情報を生徒に提供する。 ②自ら将来設計ができる生徒を育成するために、職員による動機付け・意識付けを徹底する。</p>	<p>(1)職員のキャリアカウンセリング能力が向上したか。 (2)①的確な進路情報を生徒に提供できたか、進学実績が向上したか。 ②動機付け・意識付けが徹底できたか。</p>	<p>・外部テスト等を活用し、職員のキャリアカウンセリング能力を向上させる研修ができた。 ・「総合的な学習の時間」と連携した年間計画を作成し、学年ごとに進路情報を提供することができた。また、進学実績も向上している。 ・生徒が主体的・意欲的に取り組める、進路ガイダンスを実施することができた。</p>	<p>・外部指導者の協力を得て、生徒のニーズと新しい情報を収集しながら職員のキャリアカウンセリング能力を向上させる。 ・生徒の進路ニーズを早急に把握して、各学年に適した年間計画を作成し計画的に実施する。それにより一層進学実績を向上させる。 ・ガイダンスへの参加大学についても生徒のニーズを的確に捉えたうえで依頼し、意識の向上につなげる。</p>	<p>(保護者) ・保護者にも進路に係る新しい情報を流してもらいたい。 ・進学への意欲を一層高めるようにお願いしたい。 (学校評議員) ・進学実績が着実に伸びていると感じる。 ・常に新しい情報を収集し、生徒に発信して欲しい。</p>	<p>(学校評価) ・計画的にキャリア教育を実践し、授業でも進学を意識した内容に取り組んできた成果が進学実績につながった。 ・外部講師による研修会により、職員のキャリアカウンセリング能力を高めることができた。 (改善方策等) ・新しい情報を積極的に収集し、職員で共有し生徒に適切にアナウンスする。 ・引き続き職員のキャリアカウンセリング能力の向上に向けて研修会を実施する。</p>

<p><地域等連携> 保護者・地域・他校種との連携を図り、開かれた、親しみやすい学校づくりを進める。</p>	<p>①HPや他校訪問をとおして広報活動のより一層の充実を図り、学校の教育活動について保護者や地域の人たちに積極的に情報提供を行う。 ②学校行事や地域清掃活動等をとおして、分教室や地域の小中学校との連携・交流を推進する。 ③地域の人たちのニーズを踏まえて、公開講座の内容の充実を図る。</p>	<p>①HPの迅速な更新ができたか。 ②分教室や地域の小中学校との連携・交流ができたか。 ③公開講座の内容が充実できたか。</p>	<p>・学校行事や生徒の活動実績等の広報をHPを通じて実施することができたが、部活動の情報等の掲載に一部迅速さに欠ける部分があった。 ・生徒会行事を中心とした分教室との連携、部活動による地域や小中学校との交流を行うことができた。 ・昨年までと内容を一新した公開講座を実施し、多くの方が参加し好評を得ることができた。</p>	<p>・HPの更新業務が担当者に偏りすぎている部分があり、各グループに広報担当を置くなどの工夫をし、より迅速に情報を発信する。 ・現在実施している連携・交流等の内容を充実させながら、交流の輪を広げるようにする。 ・今年度好評を得ることができた公開講座の形で、内容を発展させ実施する。</p>	<p>(保護者) ・プリントが家庭に届かないのでHPに掲載してくれるとありがたい。 ・分教室のPTAと連携していけるよう検討したい。 (学校評議員) ・様々な人たちとのコミュニケーションを大事にして、人間力の向上につなげて欲しい。 ・公開講座が大変好評のようである。是非参加してみたい。</p>	<p>(学校評価) ・HPから情報を得ている中学生・保護者も多く、より円滑な更新が大切である。専門的な知識が必要な部分もあり、対応に工夫が必要である。 ・地域や近隣小中学校との連携は継続的に実施しているが、さらに発展させながら連携を拡大させたい。 (改善方策等) ・HPへの掲載内容や地域との連携について、生徒のアイデアを募りながら積極的に改善して行く。</p>
<p><学校運営・学校管理> (1)非常時に対応できる防災教育や防災訓練への取組をとおして、生徒・職員の防災意識を高める。 (2)職員一人ひとりが事故・不祥事を根絶できるよう意識改革に努める。</p>	<p>(1)防災訓練の内容を充実させ、非常時に対応できる訓練を実施する。 (2)①若手教員の人材育成を目的に組織的に研修会を実施し、教員としてのモラルや心構え等について意識啓発を行う。 ②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修を実施し、事故・不祥事の根絶に努める。</p>	<p>(1)非常時に効果的に対応できる訓練を実施できたか。 (2)①若手職員向けの研修会が実施できたか。 ②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修が実施できたか。</p>	<p>・年3回の避難訓練にそれぞれ目標を持って取り組み、非常時に対応できる訓練を実施できた。 ・毎学期末に若手研修会を開催し、日ごろの疑問や課題を話し合い、今後につながる研修会を実施することができた。また、将来構想会議を開催し、住吉高校が今後どう進んでいくのかを話し合いこれからの方向性を検討することができた。 ・全校生徒及び全職員でデートDVに係る研修会を実施した。また、事故不祥事防止プログラムに沿って、注意喚起を適切に行った。</p>	<p>・引き続き様々な方法で防災訓練を実施し、防災意識の向上に努める。 ・若手職員を中心とした座談会や研修会を定期的に開催し、コミュニケーション能力の向上と円滑に業務を遂行する力の育成を目指す。また、将来構想会議を継続的にを行い、目標を明確にした教育を目指す。 ・事故不祥事防止プログラムを全職員の共通理解の上で作成し厳正に遂行する。</p>	<p>(保護者) ・災害時に通信機器での情報収集ができなくなった時の行動が心配だ。 ・備蓄食料が水と乾パンだけで大丈夫なのか。置場も含め検討してもらいたい。 (学校評議員) ・指定された避難場所にはなっていないが、事態が発生すれば地域の方が避難してくる可能性がある。地域住民や中学校との連携した訓練が必要であると感じる。</p>	<p>(学校評価) ・様々な方法による避難訓練を実施し、防災意識を高めることができた。 ・地域の防災訓練に参加しコミュニケーションを図ることができた。ご意見を参考にしながら連携を深めていきたい。 ・将来構想会議の議論を進展させ、様々な改革につなげていく。 (改善方策等) ・様々な形で防災訓練を実施し、防災意識の向上を図る。 ・将来構想会議をより活性化させ、住吉高校の将来像を明確化する。</p>